

国語科学習指導案

日 時 平成26年9月24日(水) 5校時
児 童 2年2組 男子12名 女子12名 計24名
授業者 高取有子

1. 单元名・「教材名」

読んで考えたことを書こう 「どうぶつ園のじゅうい」

2. 単元の目標【領域 指導事項】

- ◎ 時間的な順序や事柄の順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読みとることができる。【読（1）イ】
 - ◎ 文章の中の大変な言葉や文を書き抜き、自分の経験と結び付けて、感想を伝えることができる。【読（1）エ・オ】
 - ・ 条件に沿って経験したことをもとに書くことを決め、簡単な構成の文章を書くことができる。【伝国（1）イ（ウ）】

3. 単元を貫く言語活動【言語活動例】

- ・ どうぶつの本を読んで、かんそうこうりゅう会をしよう。【言語活動例 読工】

4. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・自分の知っていることと結び付けて説明文を読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 何について、どのようなことが、どのような順序で述べられているかを理解している。(1) イ・エ 知識や体験を比べて、「はじめ・中・おわり」の構成で感想を書いている。(1) オ 	<ul style="list-style-type: none"> 感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、本や文章を読んで感想を書く際に用いている。(1) イ(ウ)

5. 教材觀

本教材は、獣医の一日の仕事が日記のように時間を追いかけながら書かれており、時間的順序を捉えるのに適している。また、「朝」「見回りが終わるころ」などの語句が段落のはじめに書かれていることや、それぞれの行動などの後に理由が書かれていることで、わかりやすい構成になっている。「いつもすること」「ある日特別にすること」というまとまりでも捉えることができ、事柄の順序ということも合わせて指導できる教材である。

本单元の学びを深めるために「どうぶつの本を読んで、かんそうこうりゅう会をしよう」を設定し、教材文からひきつけられたところを探しながら読んだり、自分の知識や経験と結び付けながら感想を書いたりする学習活動を行うことで、説明文からも感想をもつことができるようになると考える。

6. 児童の実態

略

7. 単元の指導計画（全12時間）

次 時	児童の活動 *部分的な言語活動	教師の支援	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を確かめ、題名や絵、写真から内容を予測する。 教材文を読み、学習課題「どうぶつの本を読んでかんそうこうりゅう会をしよう」を設定し、学習の見通しをもつ。 <p>*ひきつけられたことを元に、初発の感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読む前に、獣医や動物について知っていることを発表させる。 作品例や学習の流れを提示し、活動に見通しをもたせる。 「ひきつけられた」という言葉の意味を知らせ、初発の感想を書かせる。 	関

並行読書で動物の

2	2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を表す言葉に気をつけて読み、内容の大体を読み取る。 ・文章を「はじめ」「中」「おわり」の三つのまとまりに分ける。 ・文章の段落を大まかに分け、時間を表す言葉を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文の挿絵や写真を用意し、読み取りの手掛かりにさせる。 ・「いつ」を表す言葉に着目しながら読むことを確認する。 	読(1) イ
2	5 6 7 本時 8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医の仕事と訳を確かめながら読む。 ・「いつもすること」「ある日特別にすること」について、文末表現の違いを確かめる。 <p>*ひきつけられたところを探しながら読む。 *自分の知識や経験と結び付けて感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医の仕事や訳を表している部分を見つけさせる。 ・文末表現の違いを確認する。 ・獣医の仕事と訳に着目して読み、ひきつけられたことを考えさせる。 ・獣医の仕事や訳に着目して読み、獣医や動物の行動と自分の知識や経験とを結びつけて感想を書かせる。 	読(1) イ エ オ
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうぶつ園のじゅうい」を読んで、一番ひきつけられたことを元に、感想を書く。 ・感想を読み合い、考えたことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識や経験と比べて、似ているところや違うところなどを考えさせる。 	読エ オ 言
3	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や学校図書館で自分の興味のある科学読み物を探して読み、ひきつけられたことを自分の経験と結び付けて書く。 ・動物の紹介文を読んで、感想を伝え合う。 ・単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきつけられたことを自分の知識や経験と結び付けて考えさせる。 ・友達の発表で良いと思ったことを見つけ、ワークシートに書き込ませる。 ・友達の感想を読み合い、相互評価することで感想を深める。 	読エ オ 言 関

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

- 獣医の仕事の様子を読み取り、自分の知識や経験と結び付けて感想を書くことができる。

(2) 本時の展開 (7／12)

	児童の活動 ＊部分的な言語活動	教師の支援・留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れを確認する。 ○ 前時までの学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・獣医の仕事の訳に着目して読むと、どんな話なのかが詳しくわかることを確認する。 ○ 課題を確認する。 <p>課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ひきつけられたところをさがしながら読み、かんそうをもちましょう。</div> 	○学習のゴールを示し、単元の目標と前時までの学習を確認する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 獣医さんが薬を飲ませた方法と結果を確認する。 ○学習の範囲を音読する。(P112 L10～P113 L11) *ニホンザルへの治療の様子を読み、知識や経験を照らし合わせた感想を書く。 ○交流をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○飼育員が困っていたことに着目させる。 ○「やっと～のみこんでくれました」と「のみこみました」の違いを考える。 <p>【評価】</p> <p>獣医の仕事を読み取り、知識や経験を結び付けて感想を書いているか。(ノート・発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○考えた理由を答えさせる。

○本時のまとめをする。

じ分の知っていることとくらべながら読むと、
かんそうをもつことができます。

○本時の学習と学習のゴールのつながりを確認し、次時への意欲付けを図る。

○ひきつけられたことを探しながら、動物の生態について説明した文章を読む。

○次時の学習内容を確認する。

○動物の生態について説明した図書を準備しておく。

○ひきつけられたことが書かれているページに付せんを付けさせる。

(3) 板書計画

どうぶつ園のじゅうい

どうぶつの本を読んで、かんそうこうりゅう会をしよう。

お昼前

ひきつけられたところをさがしながら読んで、
かんそうをもらいましょう。

- ・じょうざいを口に入れさせた。
- ・えさの中に入れた。
- ・たてに半分に切ったバナナの間にはさんだ。
- ・こなをはちみつにませた。

○ × × ×

ひきつけられたところ

じ分なら
じ分も

じ分の知っていることとくらべながら読むと、
かんそうをもつことができます。